

認定こども園 りとせ相模大野こども園 in 神奈中相模大野ビル 重要事項説明書（令和8年度）

保育・教育の提供の開始にあたり、事業や設備の概要、提供するサービスの内容、契約上の重要事項について説明いたします。

1. 事業者の運営主体

事業者の名称	一般社団法人 りとせ保育会
事業者の所在地	神奈川県相模原市中央区相模原2-3-16 山崎ビルA棟302
事業者の電話番号・FAX	042-707-8388・042-707-8322
代表者氏名	林 道明
定款の目的に定めた事業	1 保育所の設置・経営 2 産休明け保育の実施・研究 3 保育に関する公的保証制度の充実・拡大を図るための事業

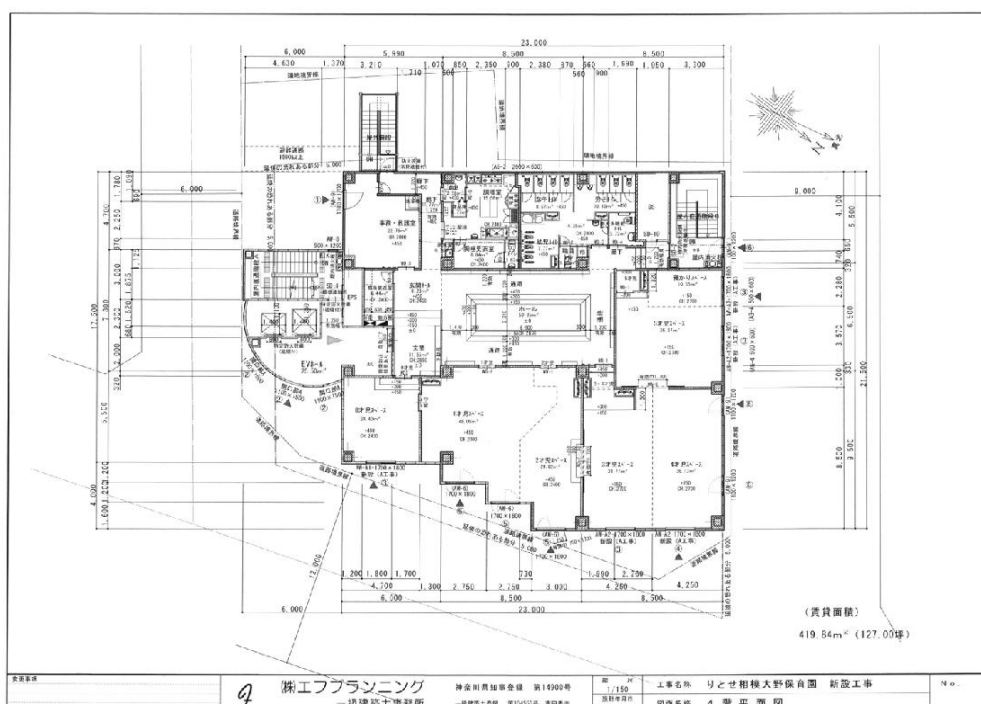
2. 施設の概要

種別	認定こども園						
名称	りとせ相模大野こども園 in 神奈中相模大野ビル						
所在地	神奈川県相模原市南区相模大野3-14-2 神奈中相模大野ビル4階						
電話番号・FAX	042-705-5311・042-705-5318						
施設長氏名	森 真由美						
開設年月日	2025年4月1日						
利用定員（年齢別）		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
	1号定員	—	—	—	3名	3名	3名
	2号定員	—	—	—	11人	11人	11人
	3号定員	5人	11人	11人	—	—	—
取扱う保育事業	一時保育、延長保育、一時預かり保育、 さがみはら休日一時保育事業* *別途事前登録と利用予約が必要です。						
事業所番号	1415306100164						

施設・設備の概要 ※別添可

敷地面積		419.84㎡	
園舎	構造	鉄骨造地上4階塔屋1階建	
	延床面積	419.84㎡	
施設設備の数と面積	乳児室	1室	24.4㎡
	ほふく室	室	㎡
	保育室	3室	210.01㎡
	遊戯室 ホール	1室	59.65㎡
	調理室	1室	26.22㎡
	調乳室	1室	0.14㎡
	幼児用トイレ	3室	26.44㎡
	医務室	1室	事務室兼
	事務室	1室	20.74㎡
	沐浴室	1室	幼児用トイレ兼
	その他設備		52.24㎡
設備の種類		冷暖房、防犯カメラ、エレベーター、保育所専用屋外階段	
屋外遊戯場（園庭）		屋外遊戯場 27,000㎡（代替場所 相模大野中央公園）	

3. 園舎平面図



4. 施設の目的、運営方針

目 的	義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとしての満3歳以上の子どもに対する教育、並びに保育を必要とする子どもに対する保育を一体的に行い、これらの子どもの健やかな成長が図られるよう適当な環境を与えて、その心身の発達を助長するとともに、保護者に対する子育ての支援を行うことを目的とする。
運 営 方 針	<p>子どもの将来が明るくなるように愛情にあふれた保育をするということ。子どもに将来必要なものは、家族はもちろんのこと家族以外（地域の人々）の心の支えになってくれる存在です。家族、先生、友達など心の支えになってくれる存在がいると、人は、頑張ろう、と明るく生きていくことができる。心の支えになってくれる人を思うだけで元気がでる。現代の社会、子どもにあった養護と教育を見出し、子どもたちにも将来、心の支えになってくれる存在がたくさんできるようにしていく。その為に、保育園でできる事は、自分が愛されているという自信をもたせる事、園児のキラキラした笑顔が曇らないように努力することだと思ふ。そして、絶えず目をそらさず、見つめあって、笑いあって、一緒に楽しい時間を過ごしていきたいと思ふ。</p> <p>園児の心が皆さんの愛情で満たされることを運営方針とする。</p>

5. 職員体制

施 設 長	1人（資格：保育士、幼稚園教諭2種）
主 幹 保 育 教 諭	2人（常勤専従）
保 育 士	21人（常勤：9人 非常勤：12人）
看 護 師	1人（常勤：0人 非常勤：1人）
調 理 員	4人（常勤：0人 非常勤：4人）
栄 養 士	1人（常勤：1人 非常勤：0人）
事 務 員	0人（常勤：0人 非常勤：0人）
園 医	1人（常勤：0人 非常勤：1人）
園 歯 科 医	1人（常勤：0人 非常勤：1人）

6. 教育・保育を提供する日

開 所 日	月曜日から日曜日
閉 所 日	年末年始（12月29日～1月3日）

7. 教育・保育を提供する時間

(1) 開所時間

月 曜 日 か ら 土 曜 日	午前7時00分から午後6時00分まで
日 曜 日 ・ 祝 日	午前7時30分から午後6時30分まで

(2) 保育標準時間認定に関する保育時間

月曜日から金曜日の保育時間	午前9時00分から午後4時00分まで
---------------	--------------------

(3) 保育標準時間認定に関する保育時間（11時間）

月曜日から土曜日の保育時間	午前7時00分から午後6時00分まで
延 長 保 育 時 間	平 日：午後6時00分から午後8時00分まで 土曜日：午後7時00分まで

(4) 保育短時間認定に関する保育時間（8時間）

月曜日から土曜日の保育時間	午前8時30分から午後4時30分まで
延 長 保 育 時 間	朝 ：午前7時00分から午後8時30分まで 夕 ：午後4時30分から午後8時00分まで 土曜日：午後7時00分まで

(5) 受け入れ年齢は、生後8週より就学前の幼児とする。

(6) 入園の選考方法（1号認定）

利用定員を超える申し込みが生じた際は、抽選により選考を行うこととする。

(7) さがみはら休日一時保育時間

A 休日保育（11時間）	日曜日・祝日 午前7時30分から午後6時30分まで
B 休日一時保育（9時間）	日曜日・祝日 午前7時30分から午後6時30分まで

※A 休日保育…平日に保育所等を利用されている方の内、休日の就労等により利用する場合

※B 休日一時保育…冠婚葬祭やリフレッシュ、地域活動等により利用する場合

8. 利用料金

施設で定める使用料項目	金額	備考
保育利用料 (0, 1, 2 歳児)	保護者が居住する市町村 が定める利用料	
教育費	1 号認定 4,000 円 2 号認定 5,000 円	英語教室, 体操スクール
月極延長代 (延長 1 時間)	4,000 円	18 時 00 分から 19 時 00 分まで
一時利用・延長代 (臨時)	18 時以降 10 分 100 円	補食(18 時 30 分)
給食費	1 号認定 : 270 円 (主食費 70 円・副食 200 円) 2 号認定 : 300 円 (主食費 100 円・副食費 200 円)	3 歳児～5 歳児まで対象 ※3 号認定 (0, 1, 2 歳児) は保育料に含まれます。 ※年収 360 万円未満相当世帯及び第 3 子以降につきましては副食費が免除となります。
サマーキャンプ費	1 か月 1,000 円(予定)	3 歳児から積立、5 歳児実施
手ぶら登園代	1 か月 2,600 円	0 歳児～2 歳児まで対象
おむつ処理代	1 か月 550 円	0 歳児～2 歳児まで対象
口座振替手数料	1 か月 100 円	保育料等のお支払いは、横浜銀行の口座振替で集金しております。振替の際には 1 回につき 100 円の手数料が発生いたします。
平日一時保育料	30 分 300 円	昼食代 1 食 300 円、ミルク 100 円、おやつ 100 円は、別途料金を頂戴いたします。 現金徴収となります。
おむつ・おしりふき代金	おむつ 1 個 50 円 おしりふき 1 個 150 円	3 歳以上の児童で、園のおむつやおしりふきをご利用された際は、別途料金を頂戴しております。

※行事にまつわる費用としましては、別途、集金いたします。

※さがみはら休日一時保育に係る費用につきましては、右 QR コードからご確認ください。
(さがみはら休日一時保育につきましては、利用当日に現金集金させていただきます)



9. 支払方法

保護者指定口座より引き落としさせていただきます。横浜銀行を介していますため、別途手数料として 100 円頂戴いたします。

提供する保育・教育の内容

【0歳児】

愛情豊かな保育者の受容により、信頼関係の基礎を培います。生活リズムを安定させ、生理的、依存的な欲求を満たされ、生命の保持、生活、情緒の安定を図ります。無理のないよう、様々な食品に慣れ、離乳を完了します。保育内容や子どもの様子をこまめに伝え、保護者と成長の喜びを共感し合い信頼関係を育みます。子育ての悩みや疑問など保護者の気持ちで受けとめ、丁寧に関わっていきます。心身の状態や生活リズムを基本に家庭との話し合いのもと、離乳を進めていきます。

【1歳児】

自分からやりたいという気持ちや好奇心が芽生え、遊びの中で歩行が安定し運動機能が高まります。自我の芽生えを受け止めてもらい、保護者や友達と関わりを持ち、人間関係の基礎を作っていきます。自分のマークを覚えられるようにし、声をかけながら一緒に行っていきます。発達に合わせた運動を行い、外では思いきり遊べる様にしていきます。また、子どもの言葉に耳を傾け、分かりやすい丁寧な言葉を返して共感します。

【2歳児】

自己主張が強くなり、友達との言葉のやりとりが多くなります。また、相手を意識し共存の喜びを味わうようになると共に競い合う精神も育ち、自分の事は自分でしようとしします。助詞、接続詞も使え日常語はほとんど話せるようになります。全身の力の調整力、片足平衡感覚が育ち、指先の機能が発達し、細かい作業も楽しめるようになります。保育者との信頼関係のもとで生理的な欲求を満たし安心して自分の気持ちを表します。簡単な身の回りの事を自分でしようとしします。また、指先や全身を使って遊び探索意欲が増し、自分のしたい事に集中するようになります。様々な経験を通して模倣ごっこ遊びや言葉のやり取りなど友達と関わって遊ぶ事を楽しむようになります。ネイティブスピーカーの英会話や歌などを聞きます。

【3歳児】

友達や保育者との関わりの中で言葉や行動で表現します。薄着で生活し、戸外で自然と触れ合いながら好きな遊びを楽しみます。友達とのつながりが広まり、一緒に体操スクール等で体を動かし、自然物を使った遊びを楽しむようになります。身の回りの片付けや生活の基本になる行動が身に付き、衛生的で安全な環境の中で、心身共に健やかに生活します。主体的に行動することを認められ、伸び伸びと過ごしながら身の回りのことが自分で行えるようになります。保育者等や友達、異年齢の子どもたちとの触れ合いを通して、人との関わりやコミュニケーション力を身に付け、文字や数、社会事象や異文化（英語圏）や自然に触れ興味を持ちます。

【4歳児】

感情が豊かになる中で、集団行動を通して様々な人間関係を築いていきます。進級を喜び、意欲的に生活をします。好きな遊びを見つけ、集中して遊べるようになります。活発さが増し、友達と一緒に活動する楽しさを味わったり、友達と協力したり助け合うことを経験し仲間意識を持ちます。様々な活動を通し自信をもって生活し、生活や遊びのきまりを守れるようになります。保育者等や友達との関わりを深め、友達の気持ちにも気付き、集団で行動できるようになります。様々なものに関わり発見や工夫を楽しみ、生活や遊びの中で友達と一緒に過ごすことを楽しみながら、自己発揮できるようになります。集団的、協同的遊びを通し、同じ目的に向け協力し合う力を養います。

【5歳児】

さまざまな活動を通じて知識や能力を獲得しながら、友達などの他人の気持ちを理解し共感します。年長児になる喜びを感じ、意欲的に取り組みます。様々な活動の中で、互いの気持ちを表現し合い、運動機能を高め楽しく遊びます。友達と意見を出し合いながら、遊びの幅を広げていきます。行事を通し、仲間意識を深め親しみを持ち、充実感・達成感を味わって過ごします。同じ目的に向かい取り組み、一つのことを成し遂げていき、充実感を味わっていきます。集団生活の中で意欲的に活動し、仲間との関わりを通して生きる力の基礎を培います。意欲的な活動を通して、疑問や発見などによる事物への関心を深めます。身の回りの事象に触れ、ものの性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにします。

【異年齢児】

縦割り保育の実践、異年齢の子どもと触れ合うことで、さまざまな刺激を受けられるようにします。異年齢児と散歩に行く機会を設けていきます。早朝保育・延長保育・土曜保育については異年齢合同保育を行い、縦割り保育は成長の違うさまざまな子どもが集まる環境で保育を行うため、人の違いを受け入れる力を養うことができます。行事は合同で行い、全体活動だけではなく場合によっては縦割りグループなども設定し、その中で互いに協力する心、思いやりの心を育みます。

【食事・食育】

食べ始めや終わりの挨拶を大切に、食材や調理してくれた人へ感謝の気持ちを育みます。月齢に合わせ、手づかみ食べから、スプーン・フォーク、箸へと移行します。又、食事の時間を通して、食器の扱い方や座り方、姿勢など簡単なマナーを身に付けます。0, 1歳児は、食事量を連絡ノートに記入し、保護者と連携をとり共有します。行事や保育の中でクッキングを取り入れ、調理の過程・作る楽しさを知り、食べる意欲へと繋げていきます。

【アレルギー】

アレルギー園児の把握をする、生活管理指導表を基にアレルギー表等を作成する、厨房よりアレルギー食をわけて調理し、食事時は別テーブルに設ける、お盆等色分けをするなど、アレルギー食を口にしない環境づくりを徹底します。万が一アレルギー症状が発症した場合、初期症状、呼吸、心拍の確認をし、緊急性が高い場合は、保育者間で役割分担をし、エピペン使用、救急車要請、AEDと対処していきます。

【健康管理】

全園児登園後、触診・視診を行うとともに保護者にも健康状態を確認し、チェック表に記入します。検温は（0・1・2歳児）基本一日3回実施、順次検温します。（必要と判断した場合は、随時行います）また、睡眠チェックで呼吸を確認し、午睡チェック表に記録します。

（0歳児→5分間隔、1歳児→10分間隔）。

毎月、身体測定を取り入れ一人ひとりの成長記録をとり、家庭と成長の様子を見守ります。その他、園だよりやほけんだより等を通し、早寝早起き、朝食の必要性を伝え子ども達の健康管理を家庭にも協力を求めます。健康に関する絵本や紙芝居などを取り入れ、子ども達が健康に対し興味を持てるよう促します。

10. 就学前教育について

当園のコンセプトは「図書館の中にあるこども園」です。

日本の「図書館法」によれば、図書館とは、「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」とされています。その「資料」、それを利用する「利用者」、資料を整理、保存して利用に供する場として「施設」があり、「施設」には、資料と利用者を結びつける役割があります。そんな図書館の魅力の一つには蔵書の多さが挙げられるでしょう。新旧、ジャンル問わずたくさんの本が並んでいると、本選びのモチベーションがあがります。また、子どもがすでに知っている知識からその周辺へ知識を広めていき、知らない知識を習得することに適しています。年齢に合わせた蔵書を揃えることで、無理なく知識を広げ、習得することが可能です。

現在、様々な場面でIT化が進み、SNSが普及する中で、語彙力や読解力、コミュニケーション能力の低下などが露呈しています。実際に、小学校では読書時間が減少していることを問題視し、本を読むことを推奨しております。読書をすることは、先に述べた、語彙力や読解力、コミュニケーション能力の向上だけではなく、表現力、感受性、創造力、思いやりなど、社会に出た時に大切になる他の力を向上するなど多くのメリットがあると考えます。例えば、植物や動物、乗り物の図鑑は、園で実施する遠足や課外授業、お散歩など、実際に見聞きしたモノやヒトを調べることで知識が増え、定着することを助けます。童話は、作り上げられたら空想の世界をイメージする想像力を、イメージの中で新しい仮説を生む創造力を、登場人物の心情を背景から読み取る思いやりを養います。紙芝居では紙をめくる度に展開していく物語に躍動感を感じ、感受性を豊かにし、表現力を高めます。昔話は、人生の教訓とすべき真意を学ぶことができますし、外国語の本からは外国の文化や習慣を学ぶことができます。繰り返しにはなりますが、絵本教育には社会に出た時に大切になる力を養うことができます。当園では司書による読み聞かせや図書の貸出も定期的に行います。司書による読み聞かせでは、素人には表現できないプロの読み方で導入部分から絵本の世界へと引き込んでもらい、家庭では、SNSなどを通して聴く声ではなく、躍動感や臨場感をもってお母さんやお父さんから発せられる生の声で読み聞かせを行っていただきます。地域や家庭も一体となって絵本教育に取り組んでいくことができれば、心より嬉しく思います。

<就学前教育カリキュラムについて>

外部から専門講師を招き英語教室、体操スクールをカリキュラムに取り入れています。

・プリンス英米学院

英語教室…毎週水曜日 ※年間 36 回（行事等により変更する可能性があります）

プリンス英米学院では ACET（アセット）6 級（大人での英検 3 級と同レベル）を 2 歳児から就学前までに目指す教育です。また 5 歳児では、外国人講師と一緒にりとせサマーアドベンチャーというお泊り保育（英語サマーキャンプ）を実施します。行先は、相模川自然の村野外体験教室「ビレッジ若あゆ」を予定しております。

・GLAX 体操スクール

体操スクール…毎週火曜日 ※年間 42 回

3 歳児から年齢別にて年間カリキュラムに沿いながら進めていきます。また、運動達成シートを作成して、お子さんの運動発達状況などを保護者と共有します。

[毎日の保育・教育の流れ]

時間	0歳児	1・2歳児
7:00	開園 順次登園 視診・触診・健康観察・検温 自由遊び（合同保育）	開園 順次登園 視診・健康観察・検温 自由遊び（合同保育）
8:30 9:00	おむつ交換 朝の会・出欠確認 おやつ（離乳食完了後） 絵本の時間	おむつ交換（排泄） 朝の会・出欠確認 おやつ 絵本の時間
9:30 10:30 11:00	設定保育・お散歩（室内外） おむつ交換 離乳食準備～絵本読み聞かせ 離乳食・ミルク （月齢によって前後します）	設定保育・お散歩（室内外） おむつ交換（排泄） 手洗い・給食準備～絵本読み聞かせ 給食（年齢によって前後します）
12:00	午睡準備 おむつ交換・検温・視診 午睡（月齢によって前後します）	午睡準備 排泄・検温・視診 着替え（パジャマ） 絵本読み聞かせ
12:30	順次目覚め おむつ交換・検温・視診 離乳食準備～絵本読み聞かせ	午睡（年齢によって前後します）
14:30 15:00	離乳食・ミルク （月齢によって前後します）	順次目覚め おむつ交換（排泄）・検温・着替え おやつ準備～絵本読み聞かせ おやつ
16:00	帰りの会	帰りの会 絵本の時間
16:30 17:30 18:00 18:30 20:00	自由遊び～順次降園 合同保育（0, 1歳児） 延長保育開始 補食（ミルク） 閉園	自由遊び～順次降園 延長保育開始（合同保育） 補食 閉園

[毎日の保育・教育の流れ]

時間	3歳児	4・5歳児
7:00	開園 順次登園 視診・健康観察 朝のお仕度 自由遊び（合同保育）	開園 順次登園 視診・健康観察 朝のお仕度 自由遊び（合同保育）
8:30 9:00	排泄 朝の会・出欠確認 絵本の時間／体操	排泄 朝の会・出欠確認 絵本の時間／体操
9:30 11:00 11:20 11:30 11:45 12:15 12:30	カリキュラム及び設定保育 （室内外） ・ 図書的时间 ・ 交流保育 手洗い・うがい・排泄 給食準備（お当番活動） ・ 絵本読み聞かせ 給食 午睡準備 排泄・視診・パジャマ着替え	カリキュラム及び設定保育 （室内外） ・ 図書的时间 ・ 素話の時間 ・ 交流保育 手洗い・うがい・排泄 給食準備（お当番活動） ・ 絵本読み聞かせ 給食 歯磨き 午睡準備 排泄・視診・パジャマ着替え
12:45 13:00 14:40	午睡～絵本の読み聞かせ 起床（目覚め）着替え・排泄 おやつ準備（お当番活動） ～絵本読み聞かせ	午睡～絵本の読み聞かせ 起床（目覚め）着替え・排泄 おやつ準備（お当番活動） ～絵本読み聞かせ
15:00 15:45	おやつ 降園準備	おやつ 降園準備
16:00	帰りの会 絵本の時間	帰りの会 絵本の時間
16:30 17:50 18:30 20:00	順次降園～自由遊び 延長保育（合同保育） 補食 閉園	順次公園～自由遊び 延長保育（合同保育） 補食 閉園

<就学前教育カリキュラム>

3歳児以上は午前中の時間にカリキュラムを行います。

英語教室（年36回）、体操スクール（年42回）、数字遊び、言葉と算数、図形遊び、創作活動等※カリキュラムとは別で外遊びを行います。（天候問わず）

<保育・教育計画（年間）>

ク	ラ	ス	保育・教育計画
0	歳	児	愛情豊かな保育者の受容により、信頼関係の基礎を培う。 生活リズムを安定させ、生理的、依存的な欲求を満たされ、 生命の保持、生活、情緒の安定を図る。 無理のないよう、様々な食品に慣れ、離乳を完了する。
1	歳	児	自分からやりたいという気持ちや好奇心が芽生え、遊びの中 で歩行が安定し運動機能が高まる。 自我の芽生えを受け止めてもらい、保護者や友達と関わりを 持ち、人間関係の基礎を作る。
2	歳	児	保育者との信頼関係のもとで生理的な欲求を満たし安心して 自分の気持ちを表す。 簡単な身の回りの事を自分でしようとする。また、指先や全 身を使って遊び、探索意欲が増し、自分のしたい事に集中す るようになる。 様々な経験を通して模倣ごっこ遊びや言葉のやり取りなど友 達と関わって遊ぶ事を楽しむ。
3	歳	児	衛生的で安全な環境の中で、心身共に健やかに生活する。 主体的に行動することを認められ、伸び伸びと過ごす。 身の回りのことが自分で行えるようになる。 保育者等や友達、異年齢の子ども達との触れ合いを通して、 人との関わりやコミュニケーションを身に付ける。 文字や数、社会事象や自然に触れ興味を持つ。
4	歳	児	保育者等や友達との関わりを深め、友達の気持ちにも気付 き、集団で行動できるようになる。 様々なものに関わり、発見や工夫を楽しむ。 生活や遊びの中から、友達と一緒に過ごす事を楽しみなが ら、自己発揮できるようになる。 集団的、共同的遊びを通し、同じ目的に向け協力し合う力を 養う。
5	歳	児	集団生活の中で意欲的に活動し、仲間との関わりを通して生 きる力の基礎を培う。 意欲的な活動を通して疑問や発見などによる事物への関心を 深める。 身の回りの事象に触れ、ものの性質や数量、文字などに対す る感覚を豊かにする。

<年間行事>

	園の行事	地域交流（予定）
4月	誕生会、入園式	絵本読み聞かせ 司書による読み聞かせ
5月	誕生会、子どもの日会 親子遠足（0・1・2歳） 春の遠足（3・4・5歳）	シャボン玉で遊ぼう 司書による読み聞かせ
6月	誕生会、給食試食会 歯科健診	小麦粉ねん土であそぼう 司書による読み聞かせ
7月	誕生会、プール開き 七夕祭り サマーキャンプ	給食試食会 司書による読み聞かせ
8月	誕生会、夏祭り	夏祭り 司書による読み聞かせ
9月	誕生会、引き取り訓練 運動会	運動会 敬老お楽しみ会 司書による読み聞かせ
10月	誕生会、個人面談 ハロウィン	ハロウィン 司書による読み聞かせ
11月	誕生会、消防署見学 遠足（3・4・5歳児）	保育ウィーク 司書による読み聞かせ
12月	誕生会、発表会（乳児クラス） 絵本を題材にした劇 クリスマス会	サンタをつくろう 司書による読み聞かせ
1月	誕生会、新年お楽しみ会	お正月あそびを楽しもう 司書による読み聞かせ
2月	誕生会、節分会 発表会（幼児クラス）	ひな祭り製作 司書による読み聞かせ
3月	誕生会、ひな祭り会 卒園遠足 卒園式	ひな祭り会 司書による読み聞かせ

※ 毎月、お誕生会、避難訓練を実施します。防犯訓練（年4回）、他個人面談は、随時受けつけています。

※ 地域交流の一つとして、近隣店舗と一緒にハロウィンイベント実施。その他も随時企画を予定しています。

<クラス編成>

年	歳	児	クラス名
0	歳	児	えほん
1	歳	児	おとぎ
2	歳	児	もくじ
3	歳	児	しおり
4	歳	児	ぺえじ
5	歳	児	ずかん

11. 給食等について

- ・ 給食は栄養士が作成した献立をもとに園内で調理し出来立ての温かいものを出しています。
- ・ 冷蔵庫及び冷凍庫は、定められた時間に庫内温度を点検し、冷蔵庫（冷凍室・冷蔵室）の温度記録表に記録する。なお、庫内温度は、冷蔵庫は5℃以下、冷凍庫は-18℃以下、検食・保存食用冷凍庫は-20℃以下に保っています。

	提供内容							保育園での摂取割合 (一日の摂取カロリー)
	おやつ	給食					おやつ	
		主食	主菜	副菜	汁	デザート		
0歳児	○	○	○	○	○	○	○	(1050kcal) 50%
1歳児	○	○	○	○	○	○	○	
2歳児	○	○	○	○	○	○	○	
3歳児		○	○	○	○	○	○	(1400kcal) 40%
4歳児		○	○	○	○	○	○	
5歳児		○	○	○	○	○	○	

12. アレルギーについて

アレルギー園児の把握をする、生活管理指導表を基にアレルギー表等を作成する、厨房よりアレルギー食をわけて調理し、食事時はテーブルを別に設ける・お盆等色分けをする・アレルギーを口にしない環境づくりを徹底します。万が一アレルギー症状が発症した場合、初期症状、呼吸、心拍の確認をし、緊急性が高い場合は、保育者間で役割分担をし、エビペン使用、救急車要請、AEDと対処していきます。アレルギーでよくおこる症状としてじんましん・湿疹・唇の腫れ・嘔吐・下痢・ぜんそくなど乳幼児期に見られるアレルギー症状の多くは、アトピー性皮膚炎・湿疹やじんましんなどの皮膚異常となります。アトピー性皮膚炎の診断をされたら、食物以外が原因ということも考えられます。

13. 感染症対策について

感染症又は食中毒が発生、又はまん延しないように、国の「保育所における感染症対策ガイドライン」及び相模原市園医の手引きに則り、感染症及び食中毒の予防のための衛生管理を、適切に実施します。

■ 指定感染症（登園するときに医師の登園許可等証明書が必要）

病名	主要症状	登園のめやす
百日咳	熱がなく特有の咳・夜間に多い	特有の咳が消失するまで又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
麻疹（はしか）	発熱・くしゃみ・結膜炎・発疹	解熱した後 3 日を経過するまで（病状により感染力が強いと認められたときは長期に及ぶこともある）
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発熱・耳の下がはれる	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫れがあらわれた後 5 日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
風疹（三日ばしか）	軽いかぜ症状・発熱とともに発疹	発しんが消失するまで
水痘（みずぼうそう）	発熱とともに水疱のある発疹	すべての発しんがかさぶたのようになり乾燥するまで
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱・のどの痛み・結膜の充血・目やに	発熱、充血等の主な症状が消失した後 2 日経過していること
溶連菌感染症	高熱・咽頭痛・発疹	抗菌薬内服 24～48 時間が経過していること
流行性角結膜炎	結膜の充血・眼瞼のはれ・目やに	結膜炎の症状が消失していること
急性出血性結膜炎（アポロ病）	結膜の充血・眼瞼のはれ・目やに	医師により感染の恐れがないと認められていること
結核	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）	—	医師により感染の恐れがないと認められていること。

※感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については（－）としています。

※登園許可等証明書の用紙は、こども園、市内の病院、医院にあります。

※伝染性膿痂疹（とびひ）・中耳炎については、登園はできますが、登園許可等証明書が出るまではプールに入ることができません。

■登園届（保護者記入）登園許可等証明書は不要ですが、受診し医師の診断を受けた後、こども園へ登園届の提出をもって登園許可となります。

病名	主要症状	登園のめやす
インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症	発熱・咳・のどの痛み・節々の痛み	ページ下部図参照
マイコプラズマ肺炎	発熱・徐々に激しくなる咳・頭痛	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手のひら、足のうら、口の中に米粒大の水疱	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑 (りんご病)	軽度の発熱・顔面の紅斑	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス、アデノウイルス等)	下痢の回数が多く水のような便・かぜのような症状をとまう	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	発熱・のどの痛み・のどの奥に水疱や潰瘍	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
R S ウイルス	発熱・鼻汁・特有の咳・呼吸困難	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	多数の水疱（水ぶくれ）が集まり、紅斑となる	すべての発疹が痂皮（かさぶた）化していること
突発性発疹	3日間程度の高熱の後、解熱するとともに紅斑が出現し、数日で消えてなくなるという特徴をもつ	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと

●インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症にかかった時の登園のめやす●						
「保育所における感染症対策ガイドライン」（こども家庭庁）が令和5年5月に一部改訂されました。						
発症した後5日間を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで						
図1 「解熱した後3日を経過するまで」の考え方						
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	解熱	1日目	2日目	3日目	登園可能	
【日数の数え方について】						
発熱などの症状がみられた初日は数えず、その翌日が1日目になります。						
「解熱した後3日を経過するまで」の場合、例えば解熱を確認した日が月曜日であった場合その日は日数には数えず、火曜（1日目）、水曜（2日目）、木曜（3日目）の3日間を休み金曜日から登園ということになります。						
図2 「発症した後5日を経過」の考え方						
水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日
発症日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	登園可能
(発症の症状が出現)			(解熱後3日間を確認)			
インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症において「発症した後5日」の場合の発症とは発熱などの症状が現れたことを指します。						
日数を数える際は、発症した日（発熱が始まった日）は含まず、翌日を1日目と数えます。						

14. 入園時、保護者に書類記入後、園へ提出または、準備していただくもの

<書類>

- ・入園までの生活状況（各年齢）
- ・離乳食の食材表（0, 1歳児のみ）
- ・登降園等調査票
- ・災害時対応調査票
- ・保護者の緊急連絡先
- ・児童家庭調査票
- ・母子手帳の最新検診結果コピー
- ・父母身分証明書
- ・アレルギー疾患生活管理指導表
（必要なお子さんのみ）
- ・お迎え予定者の身分証明書（父母以外）
- ・同意書
- ・プライバシーポリシー・個人情報同意書
- ・延長保育申込書（ご利用者のみ）

<保育用品>

- ・昼寝用パジャマ（2歳児以上）
- ・パジャマ入れ巾着（40 cm×30 cm位）
- ・上履き（3歳児以上）
- ・歯ブラシ、コップ&巾着袋（3歳児以上）
- ・室内履き（0, 1, 2歳）
- ・エコバッグ
（毎週末にシーツタオルケット等
入れて持ち帰ります）
- ・水筒（3, 4, 5歳児）
- ・防災頭巾（3歳児以上）

●毎日持参いただくもの

※全ての持ち物に名前の記載をお願いします。

■ 0・1・2歳児

- ・着替え一式を2組以上（ロッカー内に置いておきます）
- ・ループ付きお手ふきタオル1枚（1, 2歳児のみ）
- ・汚れた衣類を入れる手付きビニール袋（Lサイズ以上）2枚（1枚1枚大きく名前を書いてください。）

■ 3, 4, 5歳児

- ・汚れた衣類を入れる手付きビニール袋2枚（1枚1枚大きく名前を書いてください）
- ・ループ付きお手ふきタオル2枚（3, 4歳児のみ）
- ・ハンカチ（5歳児のみ）
- ・歯ブラシ・コップ（巾着袋に入れてください）※5月以降使用予定
- ・水筒（コップ付きではなく直接口をつけて飲めるもので、ひもかけができるタイプ）

●服装（必ず名前を記入してください。）

【服装の目安】

- ・ 登降園時は、園指定の制服・靴・帽子をご着用ください。（3歳児以上）
名札は園でお預かりし、園で管理します。
- ・ お子さまが自分で着脱しやすく、動きやすい素材のものを選びましょう。
- ・ 汚れても気にならないような、安価で洗しやすい衣類がおすすめです。
- ・ 靴下を着用してください。
- ・ 足のサイズに合った、かかとのある靴をご用意ください。
※靴はすぐに小さくなりますので、こまめなサイズチェックもお願いします。
- ・ 髪が長い場合は、安全なゴムで髪を結びましょう。
- ・ かばんにつけるキーホルダーは、1つまでとします。配布したキーホルダーは、通園用バックの規定の位置に必ずつけてください。
※ 「キーホルダーは1つまで」の規定には、このキーホルダーは含まれません。
※ 紛失の際はご購入いただきます。（1つ500円）
※ 【0・1・2歳児】登降園用QRコードのネックストラップにつけてください。
【3・4・5歳児】通園バックのファスナー端につけられている「輪」につけてください。

【安全のために避けてほしい服装】（事故やケガの原因になります）

- × スカートや高価な洋服、飾りの多いもの、お尻が見える洋服
- × タンクトップやキャミソールなど、露出の多い洋服
- × 紐のついた服、パーカー
- × サンドル・ブーツ
- × ヘアピン
- × フード付きの上着

【自分でやってみよう！の気持ちを育てるために】（自立の意欲を妨げる要因になります）

- × つなぎ服など着脱しにくい洋服
- × 紐のついた靴

【お願い】

飴などを舐めたり、食べ物を食べたりしながらの登園はご遠慮ください。
アレルギーのお子さんもいらっしゃいますので、園内への持ち込みはお控えください。

【園服の着用について（3歳児以上）】

当園では、登降園時は園服を着用いただきます。

登降園のほか、入園式・遠足・発表会・卒園式などの行事でも着用します。

- ・ ルールを学ぶ機会になります。
- ・ 園と家庭、それぞれの生活に気持ちの切り替えがしやすくなります。
- ・ ボタンかけや着脱、園服・帽子・カバンの片付けなど、身支度を自分で行う練習になり、自立の一步となります。
- ・ 園服が目印となることで、地域の方にも園児として意識していただき、防犯面での安心にもつながります。

15. 登園・降園について

登降園にあたっては、次の点に留意してください。

- ① こども園への送り迎えの方法等は、あらかじめ届け出た登降園等調査票に沿って行い保護者証(QRコード証)を首からかけてお持ちください。
- ② 送り迎えの方の変更がある場合には、受け渡しの安全確認のため事前にご連絡ください。(届出のない方で、保護者の方に確認できない場合、お子さんをお渡しすることはできません)
- ③ 欠席や事情により、児童調査票に届けた時間より登園が遅くなる場合は、食事の集計の都合上、午前8時30分までに連絡をお願いします。
- ④ インターホンを鳴らしモニター前でしばらくお待ちください。
クラス名とお名前を伝えていただき、モニター画面を確認後、解錠します。
- ⑤ 交通安全に心がけ、登降園の順路は、決めておきましょう。
- ⑥ ご近所にご迷惑をかけないようにマナーに注意しましょう。
- ⑦ 保育・教育の流れやお迎えの遅いお子さんの気持ちにも配慮して、お預け時、お帰りの際はスムーズをお願いします。
- ⑧ 不審者や不審なものを見かけた場合は、こども園まで連絡下さい。
- ⑨ 保護者の方はお子さんのロッカーへ荷物を収納し保育・教育にかかる準備をお願いします。
- ⑩ お仕事がすみ次第、お迎えをお願いします。

16. 認定こども園と保護者との連携について

こども園は、保護者とともに子どもを育てる営みであり、子どもの24時間の生活を視野に入れ、保護者の気持ちに寄り添いながら家庭との連携を密にして保育を行います。心配なこと、分からないことはいつでも職員にお尋ねください。(面談は、随時行います)

17. 支援保育について

個別支援計画等を作成し、一人ひとりに寄り添った保育・教育を提供します。子どもに障がいや発達上の課題が認められる場合には、関連機関と連携を図りつつ、子どもと保護者に対する個別支援を行います。

18. 乳幼児突然死症候群(SIDS) 予防措置について

乳幼児突然死症候群(SIDS)とは、元気で何の異常もなく育っていた赤ちゃんがある日睡眠中に呼吸が止まって突然死亡する病気です。今のところ、はっきりした原因は解明されていませんが、育児環境の中にSIDSの発生率を高める因子があることが明らかになってきました。

※園では、SIDSを防ぐために、以下を行っています。

- ・胎動センサーを使用(5か月まで)
- ・うつぶせ寝を防止
- ・室内温度を温め過ぎない
- ・厚着させない
- ・ベッドの中に不要なものはいれない
- ・よだれかけ(スタイ)は外す
- ・睡眠チェックで呼吸を確認(0歳児→5分間隔、1歳児→10分間隔)
- ・園医のもと定期的に健康診断を行い、発達の様子を把握する
- ・環境の変化によるストレスを与えないようにする
- ・タオルケットを顔に掛けない
- ・枕を使用しない
- ・敷布団は固く通気性のよいものを使用する
- ・常に子どもの顔が見える位置にいる
- ・定期的にAEDの使い方を訓練する

19. 虐待の防止のための措置について

当園は、保育・教育の提供中に、当園の職員又は養育者（保護者等利用子どもを現に養育する者）による虐待を受けたと思われる子どもを発見した場合は、速やかに、児童虐待の防止等に関する法律の規定に従い、市各区の子育て支援センター・児童相談所等適切な機関に通告する。

- (1) 人権の擁護、虐待の防止等に関する必要な体制の整備。
- (2) 職員による利用子どもに対する虐待等の行為の禁止。
- (3) 虐待の防止、人権に関する啓発のための職員に対する研修の実施。
- (4) その他虐待防止のために必要な措置。

20. 園医

当園の園医は以下のとおりです。

医療機関の名称	相模大野こどもクリニック
医師名	都築 慶光
所在地	〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野 3 丁目 3-1 ボーノ相模大野サウスモール 4F
電話番号	042-711-6031

21. 園歯科医

当園の歯科医は以下のとおりです。

医療機関の名称	まつい歯科医院
歯科医師名	松井 光平
所在地	神奈川県相模原市南区相模大野 7-3-3 ブラザービル 1F
電話番号	042-705-3730

22. 地域防災拠点、広域避難場所

認可保育所近隣の地域防災拠点、広域避難場所は次のとおりです。

地域防災拠点	相模原市立大野南中学校
広域避難場所	相模女子大学

23. 緊急時における対応

保育・教育の提供中に、子どもの健康状態の急変、その他緊急事態が生じたときは、お父さまの保護者の方があらかじめ指定した緊急連絡先に連絡します。また、園医又は子どもの主治医に相談する等の措置を講じます。保護者と連絡が取れない場合には、乳幼児の身体の安全を最優先させ、当認可保育所が責任を持って、しかるべき対処を行いますので、あらかじめ御了承願います。

<近隣の緊急連絡先>

警 察 署	相模原南警察署	042-749-0110
消 防 署	相模原市消防局南消防署	042-774-0119
保 育 課	南子育て支援センター	042-701-7723

24. 非常災害時の対策

非常災害に関する具体的な計画を立て、防火管理者を定めています。非常災害時の関係機関への通報及び連携体制を整備し、それらを定期的に職員に周知するとともに、毎月1回以上避難及び消火、救出その他必要な訓練を実施しています。また、災害時には「はい！チーズシステム」を使用して保護者への一斉メール配信にて情報発信を迅速に行います。

防 火 管 理 者	森 真由美
消防計画届出年月日	相模原市消防局南消防署 2025年3月14日
避 難 訓 練	月1回（年12回）※防犯訓練 年4回
防 災 設 備	消火器、誘導灯、火災報知器

25. 賠償責任保険の加入状況 以下の保険に加入しています。

- ・引き受け保険会社 日本興亜損害保険株式会社
- ・取扱い代理店 株式会社アレーテ

【保険概要】

引き受け保険会社 : 損害保険ジャパン株式会社

取扱い代理店 : アレーテ

【保険概要】

賠償責任保険

施設・業務遂行 危険 対人・対物共通

1事故15億円限度（免責3万円）

製造物・完成（引渡）作業 危険 対人・対物共通

1事故総額15億円限度（免責3万円）

26. 苦情相談窓口

こども園は、支給認定保護者等からの保育の提供等に関する苦情に迅速かつ適切に対応するために、必要な措置を講じます。苦情解決責任者、苦情受付担当者等苦情受付の窓口を設置又第三者苦情相談へ苦情相談申し出ることができます。また、施設内への掲示、パンフレットの配布等により利用者に苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員の氏名・連絡先や、苦情解決の仕組みについて周知します。苦情の受付から解決・改善までの経過と結果を書面に記録します。苦情解決結果を一定期間ごとに第三者委員に報告しております。(年度末) 個人情報に関するものを除き、インターネットを活用した方法のほか、「事業報告書」や「広報誌」等実績を掲載し、苦情解決の結果を公表します。

相談・苦情解決責任者	代表理事	電話番号 042-707-8388
	園長	電話番号 042-705-5311
苦情受付担当者	主幹保育教諭	電話番号 042-705-5311
第三者委員	深澤 るみ子 (民生委員)	電話番号 042-749-1041
顧問弁護士	田崎 博実 多摩オリエンタル法律事務所	電話番号 042-357-3561
顧問弁護士	尾崎 隆 町田駅前法律事務所	電話番号 042-705-7666

27. 業務の質の評価について

認可保育所の自己評価	実施方法：保育所の自己評価表を年1回記録 公表方法：ホームページ
外部評価	実施方法：相模原市福祉サービス第三者評価を受審 (予定) 実施日：令和9年度 公表方法：ホームページ・園内掲示

28. 連携施設

連携施設の種類	小規模保育事業所
名称	りとせぶどう大野南保育園
所在地	神奈川県相模原市南区相模大野 8-5-1 ルミエール大野南 1階
連携協力の概要	園児の受入、行事参加、代替保育

29. 地域の育児支援について

■ 子育て家庭の交流事業(地域交流予定)

月に1回以上、子育てをしている家庭が気軽に集い、交流できるようなプログラムを実施しています。

4月	絵本読み聞かせ 司書による読み聞かせ	10月	ハロウィン 司書による読み聞かせ
5月	シャボン玉で遊ぼう 司書による読み聞かせ	11月	保育ウィーク 司書による読み聞かせ
6月	小麦粉ねん土であそぼう 司書による読み聞かせ	12月	サンタをつくろう 司書による読み聞かせ
7月	給食試食会 司書による読み聞かせ	1月	お正月あそびを楽しもう 司書による読み聞かせ
8月	夏祭り 司書による読み聞かせ	2月	ひな祭り製作 司書による読み聞かせ
9月	運動会、 敬老お楽しみ会 司書による読み聞かせ	3月	ひな祭り会 司書による読み聞かせ

■ 一時保育

<特定保育型>

保護者の就労など次の事由に当てはまり、家庭保育が困難な場合に、原則として継続的に週3日以内でお子さんをお預かりします。

1. 就労 2. 職業訓練 3. 就学

<一時預かり型>

次の事由に当てはまる場合で、緊急的に家庭での保育が困難となった場合に、一時的にお子さんをお預かりします。

1. 通院、入院、出産 2. 家族等の看護又は介護
2. 親族等の冠婚葬祭 4. 災害または事故
5. 社会福祉施設への援助等の社会的奉仕活動
6. 保護者の就労等 7. リフレッシュ、体調不良
8. その他

※一時保育利用までの流れ

①電話にて一時保育利用希望の旨を連絡ください。

②来園日時調整の上、当園で事前登録の受付を行います。

※行事の日や、他の利用児がいる場合にはお受けできないことがあります。

※利用料金

平日一時保育料	30分 300円	昼食代 1食 300円、ミルク 100円、おやつ 100円は別途料金を頂戴いたします。現金徴収となります。
---------	----------	---

同 意 書

当園における保育・教育の提供を開始するにあたり、本書面に基づき重要事項の説明を行いました。

こども園名 : 認定こども園 りとせ相模大野こども園 in 神奈中相模大野ビル
所在地 : 神奈川県相模原市南区相模大野 3-14-2 神奈中相模大野ビル4階
説明者職名 : 園長
氏名 : 森 真由美

私は、書面に基づいて、保育所型認定こども園 りとせ相模大野こども園 in 神奈中相模大野ビルの利用にあたっての重要事項の説明を受け、同意しました。

令和 年 月 日

保護者住所 :

児童氏名 :

保護者氏名 :

印 (署名でも可)

児童から見た続柄 :